

《担当者名》丸川活司

【概 要】

臨床細胞病理学Ⅰ、Ⅱおよび臨床組織・細胞病理学実習で学習した知識と技術をもとに、様々な検体の正常、異常標本を観察することで、臨床現場に出た際の即戦力を養う。本講義では1)細胞検査士について、2)女性生殖器の細胞診、3)呼吸器の細胞診、4)表在臓器(乳腺・甲状腺・唾液腺)の細胞診、5)泌尿器の細胞診、6)消化器の細胞診、7)リンパ節の細胞診、8)体腔液・脳脊髄液の細胞診、9)骨・軟部組織の細胞診について、実際の臨床検査で判定が難しい標本についての観察をおこなう。

【学修目標】

- 1) 細胞診断学の概要を理解する。
- 2) 細胞診検査の利点・欠点について説明できる。
- 3) 良性細胞、悪性細胞の一般的な細胞学的特徴について説明できる。
- 4) 各臓器における細胞診検体の採取法を説明できる。
- 5) 細胞診標本作製について、塗抹から染色までの処理過程を説明できる。
- 6) 各領域における正常細胞形態、炎症性病変、腫瘍性病変の細胞形態について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・医療における細胞診 ・予防医学と細胞診 教科書：P1～7	丸川活司
2	細胞の形態と機能	・細胞と細胞内小器官 ・細胞の分化と組織の形成 教科書：P8～14	丸川活司
3	細胞像と組織像の対比	・正常細胞と組織 ・腫瘍の組織像と細胞の出現様式 教科書：P15～37	丸川活司
4	病理組織学	・新陳代謝の障害による病変 ・炎症性病変 ・腫瘍性病変 教科書：P38～50	丸川活司
5	細胞診標本作製	・検体採取法 ・塗抹固定法 ・染色法 教科書：P51～104	丸川活司
6	細胞の見方	・スクリーニング ・判定と診断の報告 教科書：P105～125	丸川活司
7	婦人科領域の細胞診	・婦人科領域疾患の分類 ・子宮頸部疾患 ・子宮体部疾患 ・卵巣疾患 教科書：P130～161	丸川活司
8	呼吸器領域の細胞診	・呼吸器疾患の分類 ・非腫瘍性疾患 ・悪性腫瘍	丸川活司

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		教科書：P176～194	
9	消化器領域の細胞診	・消化器の構造と細胞 ・消化器疾患の分類 教科書：P204～221	丸川活司
10	泌尿器領域の細胞診	・泌尿器系疾患の分類 ・非腫瘍性疾患 ・悪性腫瘍 教科書：P228～243	丸川活司
11	乳腺・甲状腺の細胞診	・乳腺、甲状腺疾患の分類 ・非腫瘍性疾患 ・悪性腫瘍 教科書：P249～269	丸川活司
12	体腔液の細胞診	・体腔液貯留を伴う疾患 ・脳脊髄液の細胞診 教科書：P278～296	丸川活司
13	非上皮性組織の細胞診	・非上皮性組織にみられる疾患の分類 ・非腫瘍性疾患 ・悪性腫瘍 教科書：P304～333	丸川活司
14	中枢神経系腫瘍の細胞診	・中枢神経系にみられる疾患の分類 ・非腫瘍性疾患 ・悪性腫瘍 教科書：P333～335	丸川活司
15	まとめ	各種疾患における典型的な細胞像	丸川活司

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 100%

【教科書】

細胞診を学ぶ人のために 第6版 医学書院 2019年

【参考書】

JAMT技術教本シリーズ「細胞検査 技術教本」 丸善出版 2018年

細胞診のすすめ方 基礎から学ぶ 第4版 近代出版 2018年

【備考】

クリッカーを使用し、学生の理解度を把握する。

Google Formを利用して学修課題を提示。

【学修の準備】

授業前に講義予定の教科書範囲を予習する（80分）

講義で用いた資料に関して復習し、要点をまとめる（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

（DP6）臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

【実務経験】

丸川活司（臨床検査技師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、高度に専門化し複雑化した医療の分野にあたり、専門職業人としての理念と方法、その具体的な実践に関して講義する。